

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年6月30日～7月6日)

2020年7月8日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、グレフ露ズベルバンク頭取と会談(7/3)

●マケイ外務大臣、欧州 EU 近隣拡大総局テレビ会議に出席(7/1)

●中央選挙管理委員会、大統領選候補登録のための署名数の集計結果を公表(6/30)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ミガシュ駐ベラルーシ・スロバキア大使と会談(7/6)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・スロバキアとベラルーシは良好な関係にあり、二国間の貿易高は 220 百万ドルである。大きい金額ではないが、過去全く貿易が無かったことを考慮すると非常に重要な成長である。しかし、我々はさらに大きくすることができるし、ベラルーシはスロバキアと多くの分野で協力する用意がある。

・貴大使は、社会活動家であるだけでなく、優秀な実業家である。我々は、貴大使の力を借りて様々なことができるであろう。そして、ベラルーシは、その協力に開放的である。貴大使に提案があり、ベラルーシの実業家や工場と繋がれば、貴大使が必要と考える方向への発展のための場所が見つかるであろう。

・5月9日の戦勝軍事パレードへの出席に対し、ベラルーシ共和国フランシスコ・スコリナ勲章を授けたい。(7/6 大統領公式ホームページ)

●ナザルバエフ・カザフスタン初代大統領と電話会談(7/6)

両者は、ベラルーシとカザフスタンのユーラシア経済委員会における相互協力について議論した。ルカシェンコ大統領は、ナザルバエフ氏の 80 歳の誕生日を祝い、10月にミンスクで開催される予定のユーラシア経済委員会ハイレベル会合へ同氏を招待した。

(7/6 大統領公式ホームページ)

●グレフ露ズベルバンク頭取と会談(7/3)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・我々は、ソ連時代のように、5 年計画に入れるべ

き、画期的な案件の一覧を作成する予定である。それらが無駄にならないよう資金調達に関して合意する必要がある。私は、貴頭取とこれらの案件について議論を行いたい。ズベルバンクがこの大きな事業に参加する用意があるなら、私は、我々の経済に対する貴方の資金提供を歓迎する。

・現在、5 つのパンデミックが一緒になっている。一つは、炭化水素のパンデミック、その後、保健分野におけるパンデミック、その後、政治的、経済的、情動的パンデミックが続いた。我々はこれらのパンデミックに常に苦勞しており、特に、政治的パンデミックが我々を圧迫している。

・独立記念日に貴頭取とミンスクでお会いできることを嬉しく思う。銀行の問題(当館注:ベルガスプロム銀行の捜査)が発生したため、ベラルーシにおける銀行を比較した。私は、ベラルーシには誠実、かつ規則通りに活動するロシア系銀行もあると公表した。ズベルバンクは、ベラルーシで融資契約を多く保有し、多様な案件に参加しており、活発な活動をしている。貴頭取は、我々との会談において常に新たな将来性について語ってくれる。その一つが、ミンスク市内に建設された噴水であり、これは独立記念日に際するロシアからの贈り物であると考えている。

グレフ・露ズベルバンク頭取の発言要旨は以下の通り。

・独立記念日にミンスクに来て嬉しい。昨年この日にズベルバンクのイベントを開催し、2500 人も参加者が集まった。その際、「来年の 7 月 3 日に噴水を建設しよう」と合意した。

・このような噴水は初めて建設した。我々は、ロシア

の各都市に噴水を与えているが、水中の噴水は初めてである。私も映像で見させて貰ったが、まさに、ミンスク市民とベラルーシ国民へのロシアからの贈り物である。

(7/3 大統領公式ホームページ)

●独立記念日献花式、愛国行進「ベラルーシは覚えている」に参加(7/3)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・大祖国戦争において、ベラルーシ国民は、自身の命よりも自由を上を置くという歴史的な選択を行った古代スラブの強く、誇り高く独立した先祖には、それ以外の選択はなかった。

・我々の地における侵略者との受け入れがたい闘いは、占領の初日から最後の日まで続いた。パルチザンや地下活動家、彼らを支援した何百万もの平和市民が、ナチスドイツに仕えることを望まず、死に向かって進んだ。欧州において、凄惨な占領状況下においても、このように大規模な抵抗を実施した都市は他にみつけることができないであろう。

・イヴァン・カヴァレフ氏、イサイ・カズニェツ氏、ドミトリー・カロトケヴィチ氏、ウラジーミル・アメリカニェク氏、イヴァン・カブシュキン氏、その他多くの方々の名前をより大声で挙げる必要がある時であろう。彼らは、本物の愛国者であり、実在の英雄である。この同胞達は、短い人生であったが、多くのことを我々祖国のために成し遂げた。我々は、彼らと共に、国民の3分の1を失った。

・我々の先祖が、未来の世代の生活と自由のために、どれほど大きな代償を支払ったか、知らないふりをするものために、何度も繰り返し説明しよう。ベラルーシは、我々の地で闘った兄弟国の戦士のことを覚えている。ベラルーシは、ファシズムからバルト三国やポーランド、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、オーストリア、チェコ、ドイツを解放した全てのもの、オベリスクの下に永遠に残った全てのものを覚えている。既に我々と共にいることのない、旧軍人達について悲しく思う。第二次世界大戦の全ての英雄に1分間の黙祷を行う。

・旧軍人の皆様へ、耐え抜き、祖国を守って頂き感謝する。あなた方の無限の勇気と不屈さ、愛国心は、我々の指針となっている。

・尊敬する友人の皆様。我々はともに独立国家を作り上げた。我々は自身の歴史を誇りに思い、英雄の過去の記憶を大切にする。ベラルーシは、平和愛好的な国であり、平等な立場における相互に利益のある協力のため、他国との対話を行っていく。しかし、今日世界はますます複雑に危険になっている。今日多くの者が、明日どうなるのかと質問するが、答えは単純である。我々の未来は、我々自身に依る。誰も、外から、ベラルーシの安定と独立を揺さぶる状況にはない。我々のみが、自身の運命を決めることが出来る。全て、我々次第である。

(7/3 大統領公式ホームページ)

●サルキシヤン・アルメニア大統領と電話会談(7/2)

両者は、二国間協力の発展と共同案件の実現、新型コロナウイルスの感染状況の情報交換を行った。

(7/2 ベラパン通信)

●ロシアを訪問し、プーチン露大統領とともにルジェフ・ソ連兵記念式典に参加(6/30)

(6/30 大統領公式ホームページ)

外交

●米国のオープンスカイズ(領空開放)条約脱退に対し、露ベラルーシ共同声明を公表

主な内容は以下の通り。

・ベラルーシ共和国とロシア連邦は、米国のオープンスカイズ条約脱退の決定に遺憾の意を表す。今回の決定は、全欧州の安全保障、軍事管理の分野における条約制度に対し重大な損失を与えうる。

・ベラルーシ共和国とロシア連邦は、オープンスカイズ条約加盟国として、条約履行の問題に対する総合的解決の模索に向けた平等で相互尊重の対話への用意がある。

(7/6 外務省公式ホームページ)

●マケイ外務大臣, 欧州 EU 近隣拡大総局テレビ会議に出席(7/1)

マケイ外務大臣の発言要旨は以下の通り。

・東方パートナーシップの重要な成果として, 査証簡素化および再入国受入に関する協定の発効がある。我々は将来的な EU・ベラルーシ間査証免除の導入に賛同している。

・EUによる東方パートナーシップ参加国の EU 市場への輸出に対する支援, EUによる投資増加, 東方パートナーシップ参加国の雇用創出, 国際財政機関による各案件の実行等のベラルーシの提案を再度お伝えする。

・欧州物流網の延長や EU・東方パートナーシップ参加国間のエネルギー統合策の実施により, EU 加盟国と東方パートナーシップ参加国の相互協力が向上していくことに賛同する。

・東方パートナーシップの戦略目標に, 貨物・乗客の国境を跨がる移動の加速化を入れたい。また, ミンスクにおける東方パートナーシップIT学校の設立に関するベラルーシのイニシアチブも再度提起したい。

(7/2 外務省公式ホームページ)

●ミンスク市にて, 中国による資金提供の下で建設される, 国立サッカー競技場, 国立水泳場建設の起工式の実施(6/30)

崔大使の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシと中国は, 相互に信頼する良きパートナーであり, 友である。全方向の戦略パートナーシップ, 相互の信頼, 互恵的協力は, 常に高水準で維持している。両者は, 基本的な利益と鍵となる問題に関して相互を支援する真に全天候型のパートナーである。

ニコライ・スノプコフ第一副首相の発言要旨は以下の通り。

・我々は, あなた方とともに, ルカシェンコ大統領の外交的天性の, そして彼の誠実さと, 交友能力の証人である。中国による技術経済支援は, 単なる経済的なものではない。

・2015年までの8年の間, 我々は, 中国より1億3千

万ドルもの技術経済支援を受けた。2015年に行われた両国首脳会談以降, 我々は, 毎年, 1億3千万ドルの技術経済支援を中国から受け取っている。これらの支援は, ベラルーシ・中国共同特区「巨石」における住居, 寮, その他インフラの建設に向けられている他, オリンピック水準のスポーツ施設の建設に向けられている。これは, 大統領の個人的な合意であり, 実質的に彼個人のプロジェクトである。

・具体的な案件に対する技術経済支援額は, 既に5億ドルを超えている。3~4年単位での将来案件に対する支援額は, 8億ドルに上る見込みである。これは, 技術経済支援のみであり, 投資や, 貿易経済分野, 社会政治分野については言うまでもない。

・これは, 中国の財務機構との恒常的な協力プロセスである。非常に多面的であり, 具体的な条件について話すのは, 時期尚早である。繰り返すが, これは恒常的なものである。

なお, 同施設の建設期間は, 国立サッカー競技場が40ヶ月, 国立水泳場が36ヶ月であり, 中国は, 同施設建設のため約2億4千万ドルの無償資金を提供した。

(6/30 ベルタ通信)

経済

●2020年1月~5月, ミンスク市の貿易高, 昨年対比, 28%減少。

(7/6 ベラパン通信)

●2020年1月~5月, ベラルーシの貿易高, 昨年対比, 21%減少。

(7/1 ベラパン通信)

●2020年1月~5月, 政府予算, 7千万ベラルーシルーブルの財政赤字。

2020年1月~4月は6億ベラルーシルーブルの財政黒字であったが, 5月に入り, 財政赤字に転落した。

(6/30 ベラパン通信)

●ベラルーシ向けアゼルバイジャン産石油 85 千トン、
ウクライナ・オデッサ港に到着
(6/30 ベラパン通信)

軍事・内政

●**集団安全保障条約定例電話会議, 実施(7/4)**
ベラルーシからは, ヴォリフオヴィチ国防省次官が出席した。参加者は, 集団安全保障条約加盟国の地域における安全保障上の挑戦と脅威の分析を行い, 2020 年に予定されている共同軍事演習の実施等の協議をした。
(7/4 ベラパン通信)

●**中央選挙管理委員会, 大統領選候補登録のための署名数の集計結果を公表(6/30)**
ルカシェンコ大統領(現職): 1,939,572 票
ババリコ氏: 165,744 票
ツェプカロ氏: 75,249 票
チェレチェニ氏: 143,109 票
カノパツカヤ氏: 146,588 票
ドミトリエフ氏: 106,841 票
チハノフスカヤ氏: 104,757 票
(6/30 ベラパン通信)

(了)